

ODA

沖縄脊髄損傷者連合会

しゃりん

85

編集: 沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211
〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1西棟2階・ボランティア小規模団体室
Eメールアドレス sekiren@proof.ocn.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

第33回九州ブロック 会議沖縄大会開催

去る10月10日(土)、
11日(日)の両日、沖縄県
市町村自治会館で第33回
九州ブロック会議沖縄大会
が開催されました。

沖縄県では7年振りとな
る九州ブロック会議で、九
州各支部の仲間達が多勢集
い活発な議論と情報交換が
なされましたのでご報告致
します。大会初日は、筑波
大学特任教授の奥野英子氏
を講師として招き、「社会
リハビリテーションと社会
生活力」をテーマに特別講
演がなされ、午後からの議
案審議では九州各支部から
20年度、21年度の活動
報告と総括、次に10年計
画の進捗状況と今後の方針

の報告がありました。質疑
応答では会員の減少の問題
や、会活動のありかたにつ
いて各支部から質問や意見
などがありました。更に

九州各支部が問題を共有
し、情報交換を密にして連
携を取り合っていく必要が
ある事を確認し合いました。
その後、本部からの提
案事項として、全脊連総会
でも既決されている全脊連
の公益法人化に向けての説
明が本部理事の玉木氏から
ありました。この事は九州
ブロックとして大きな問題
で、九州各支部の事業の取
り組み方、又脊連として
も更に公益性のある活動が
求められる事になると思っ
ます。公益法人化に向けて
は各支部が更に議論を重ね
ていく事となり、本部から

の資料提供も求められまし
た。最後に2010年度九
州ブロック統一活動方針は
左記のとおりです。

- 1、障害者自立支援法の凍結と新法に対する協議・研修会を開催する。
- 2、障害者権利条約の推進と関係法の改正等について研修会を開催する。
- 3、労働行政・労働保険に関する問題・課題の整理(研修)を進める。
- 4、車椅子利用者の駐車場に関する啓発行動及び住環境整備に関する県市への提起と社会への啓発行動を推進する。

※7年振となる沖縄大会でしたが無事成功裏終える事が出来ました。ご支援を頂いた皆様には心より御礼申し上げます。(実行委員一同)

(報告：事務局)



九州ブロック連絡協議 会定例会参加報告

7月25日～26日に九州ブロック協議会が福岡県クローバープラザで開催され、仲間が参加してきました。内容はピアサポート研修として、織田九プロ会長の講話と仲間が事例発表をするプログラムでした。協議は①全脊連の公益法人化②各支部の活性化でした。翌日は九州ブロック会議沖縄県大会についての報告と意見交換があり、各支部は家族も含めて、できるだけ多数参加したいと発言があり、また、観光の楽しみもあると心待ちの感がありました。両日ともに九州北部地方は大雨で、各県からの来

路、帰路共に大変で、道路封鎖もあったようです。私も帰りは電車JRがストップし、スタッフに送迎してもらおうハプニングがあり、ヒヤヒヤの旅路でした。

(報告：仲間)



実態調査実施中

沖脊連では、現在「第3回脊髄損傷者の生活状況に関する実態調査」を実施中

です。もうすでに回答した方もいると思いますが、調査をとおして関係機関が脊損者への理解を促し、それを取り巻く人々のネットワークづくりや脊損者の社会参加を促進させることを目的に行っており、17年前・10年前と合わせて3回目となりました。つきましてはぜひとも調査表に回答いただき、返送してください。なお、今回は記入が困難な方むけに沖脊連のホームページより調査票をダウンロードし、回答できるような仕組みを用意しました。調査票は <http://www.normanet.ne.jp/~www500008/> よりダウンロードできますので、画面の指示に従って回答してください。(担当：砂川)

沖脊連会員の仲里さん 米でプレー

北京パラリンピックのウイルチエアー(車いす)ラグビー日本代表で、県内チーム「沖縄ハリケーンズ」に所属する仲里進選手(32)＝浦添市＝が、2009年11月～10年4月までの半年間、全米ウイルチエアーラグビーリーグの「レイクショアデモリッション」でプレーする。仲里さんは「自信はある。持ち味を生かし、結果を残せるよう頑張りたい」と世界トップクラスへの挑戦に意欲を見せる。

米国は競技人口も多く、世界ランキングは1位。仲里さんがプレーするチームは40チーム以上ある同

リーグの中でも、何度も優勝している強豪。そのチームから、1人しかない外国人枠として仲里さんに声が掛かった。シーズンが始まる1カ月前のオフアール。仕事も内定していたが「トップクラスでプレーしてみたい」との強い思いに仕事を断り、渡米を決めた。

しかし、プロ契約とは違うため、渡航費用など自費で、給料が出るわけでもないという。国際大会の経験はあっても、1人で海外でプレーするのは初めての経験。その上、言葉や生活面での不安も大きく、支援するスポンサーを探しながらのプレー。それでも「選手としても、人としても成長できるきっかけになる」と前向きだ。

両親も「ロンドンパラリンピックまでやると自分で決めたのなら頑張れ」と応援。日本選手権を12月に控える中、沖縄のチームメートも「行ってこい」と後押ししてくれた。仲里さんは「認めてもらえたのはうれしい。プレッシャーはあるがチームが優勝に食い込めるようなプレーをしたい」と意気込む。「アメリカで学んだことを沖縄や日本のレベルアップのため生かしたい。それが支えてくれている人たちへの恩返しだと思う」

(沖縄タイムス抜粋)



広告(エアー沖縄)

スポーツクラブ

大会報告

【沖縄ハリケーンズ】

7月25・26日(土・日)の2日間、車いすラグビーの西日本大会がサン・アビリティーズうらそえにて行われました。大会には西日本のチームであるHEAT(兵庫)とわが沖縄ハリケーンズが出場。真夏の暑い最中、土曜日1試合、日曜日1試合の計2試合をこなしました。

両チームともクーラーが無い体育館の中で暑さと戦いながらハードな熱戦を展開。1日目は54対45、2日目は45対41で2日間とも沖縄ハリケーンズが勝ち、12月18〜20日に行われる全国大会の切符

を得ることができました。

【沖縄フェニックス】

第22回のじぎく杯争奪車いすツインバスケットボール大会が10月17、18日、兵庫県神戸市の兵庫県立障害者スポーツ交流感で開催され、県勢の沖縄フェニックスが優勝した。道チームが同大会で優勝するのは2003年の第16回大会以来2度目。

同大会には全国から12チームが出場し、初日は4ブロックに分かれての総当たり戦、2日目に上位チームによる勝ち抜き戦が行われた。初日にブロック1位となった沖縄フェニックスは2日目に準決勝で兵庫キャロツに66対65で勝ち、決勝では千葉ピ

ナッツに53対45で勝ち優勝を果たした。砂川昭人副代表は「遠征費用を工面できない選手が続出し、ベストメンバーで試合にのぞめなかったが、全国強豪チームに勝ち抜くことができたともうれしい」と優勝を喜んでいった。

(琉球新報抜粋)

【車椅子陸上クラブ・タートルズ】

去る10月25日(日)、第29回大分国際車椅子マラソンが開催されました。沖縄からもタートルズのメンバー7名が参加し、朝から雨模様という悪天候中、全員が力走し無事完走しました。応援を頂いた皆様に御礼を申し上げご報告致します。

(メンバー一同)

広告(ちはる歯科)